

経済産業省

2020産ガ安第4号
令和2年2月28日

一般社団法人全国登録教習機関協会 会長 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、建築物解体関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、2017年から2019年の3年間で496件、負傷者数27名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約2割以上の割合で発生し、2019年は速報値で206件発生しております。

最近の事件事例では、2019年12月に、雨水管撤去工事において、建設機械で誤って本支管を破損し、漏えいしたガスに引火し、作業員2名が軽傷を負った事故や、同年8月に、一般住宅改装の際にガス管等の配置を確認せずにカッター機で壁の切断を行ったため、壁内のガス配管、給湯配管を切断する事故がありました。

このように建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なからずあり、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

経済産業省では、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の発生防止の観点から、ガス業界を挙げて建設工事等の施工事業者に対する啓発・広報活動の充実を進めているところです。

つきましては、登録教習機関において、ガス事業者の用意するガス管損傷事故の発生防止に係る啓発・広報パンフレットの配置、配布についてご協力を賜りたくお願いいたします。

(添付資料)

- ・参考資料1 2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料2 2018年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料3 2017年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料4 建設工事等事業者向けパンフレット

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/kouhou/takoji.pdf

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故 (建設工事等))

ガス事故 (建設工事等) 件数	2017年	2018年	2019年	計
ガス事故件数	601	614	639	1854
うち、都市ガス	406	403	441	1250
液化石油ガス	195	211	198	604
建設工事等事故件数	149	141	206	496
うち、都市ガス	101	93	148	342
液化石油ガス	48	48	58	154
うち、事前照会無し	75	107	173	355
建設工事等事故による負傷者数	9	9	9	27

(経済産業省ガス安全室調べ)

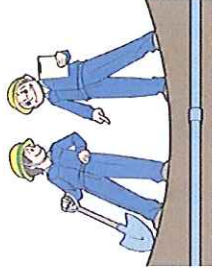
ガス管損傷事故を防ぐための 3つのポイント

工事の前にガス管の位置をしっかりと確認。
作業員全員で情報共有し、ガス管損傷事故を防ぎましょう。

Point 1

工事前に必ず確認!

工事前にガス管位置やガスが通じていないことを確認。ガス管付近は特に慎重に手掘り等で作業する。



Point 2

不明な場合は ガス事業者へ連絡!

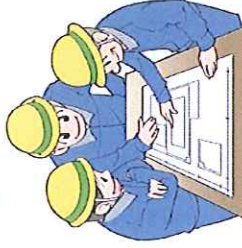
ガス管の位置や深さが不明な場合やガス管の撤去・移設工事が必要な場合。その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



Point 3

情報は全員で共有!

ガス管の位置などの情報は、図面などで作業員全員で情報を共有する。



ガスの事故がなくなるといって皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

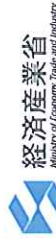


ガスの安全見直し隊

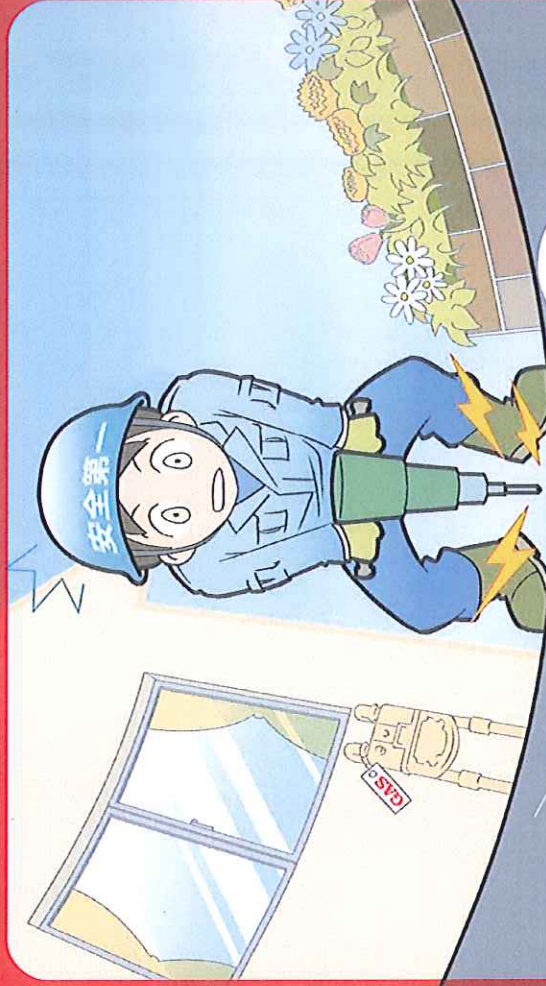
ガスの安全

<http://www.meti.go.jp/>

検索



敷地内で工事を行う際は、 ガス管の確認を!



工事の前に
ガス管の確認、
忘れてませんか?

必ず
確認!



お問い合わせは



ちよつと待て! そのすぐ下には ガス管が!?

建物の改築・解体・給排水
工事などをはじめる前に
ガス管の位置確認を!

《工事の前に》

ガス管の位置やガスが通じていないことを
必ず確認してください。

《ガス管近傍で工事を行う場合》

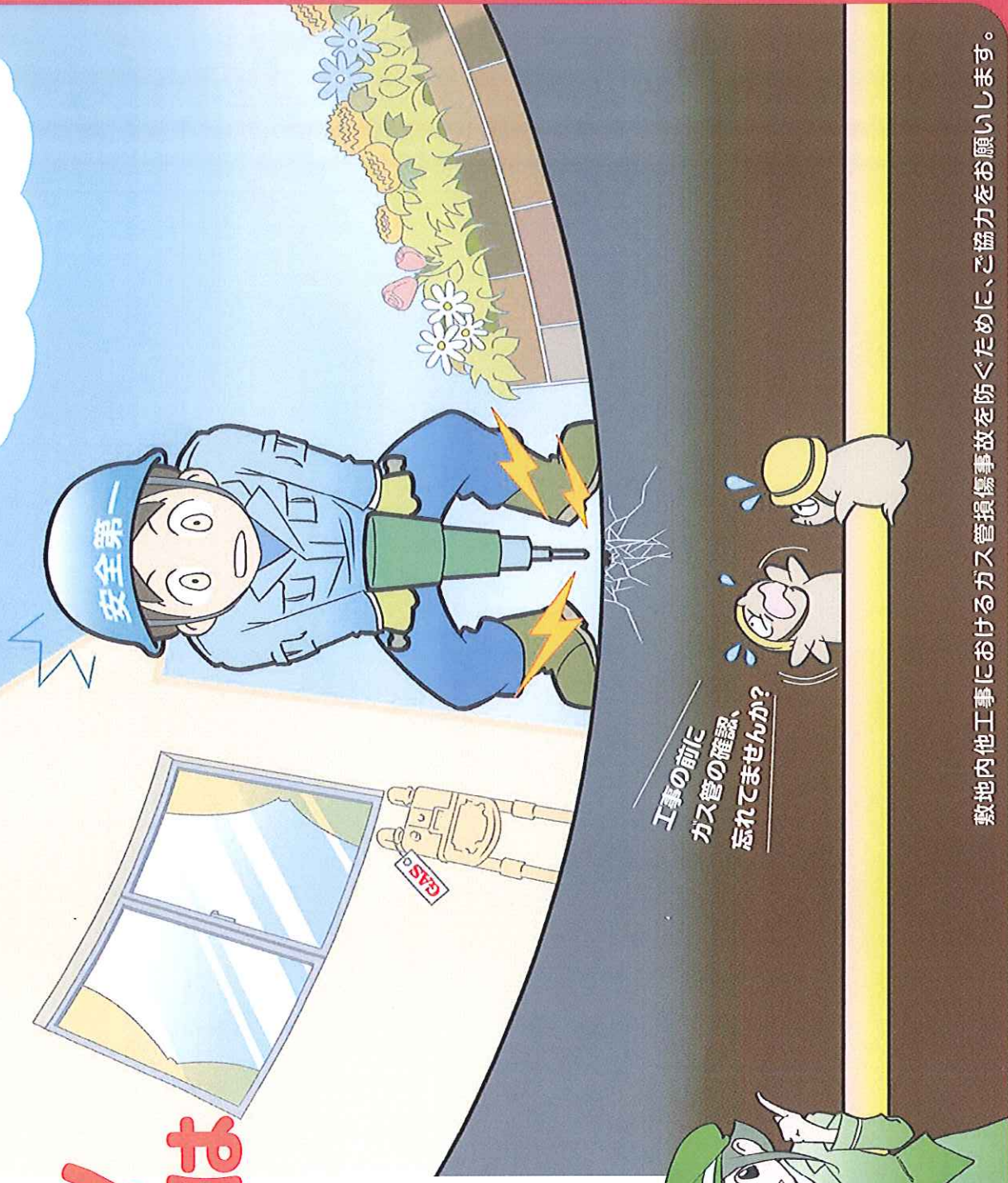
あくまでも慎重に作業を進めてください。

《不明な点は》

ガス事業者にご相談ください。

《ガス臭いと感じた時》

火気や電動工具の使用を避け、
すぐにガス事業者に連絡してください。



敷地内他工事におけるガス管損傷事故を防ぐために、ご協力をお願いします。

ガス管損傷事故
防止のため、

毎日!

工事の安全 チェック

毎日、工事の前にしっかりチェック!

作業員全員で情報共有して、ガス管破損事故を防ぎましょう。

〈チェック項目〉



工事前に必ず確認!

- ☑ 図面などで工事前にガス管の位置を確認。
- ☑ ガス管のガスが、どこまで通じているか確認。
- ☑ ガス管付近では手掘り作業をするなど、作業のポイントを確認。



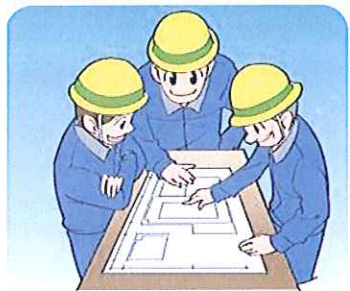
不明な点はガス事業者へ確認!

- ☑ ガス管の位置や深さが不明な場合。
 - ☑ ガス管の撤去・移設工事が必要な場合。
 - ☑ ガス管にガスが通じているか不明な場合。
 - ☑ 協議になかった管が出てきた場合。
- ※その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



工事はあくまでも慎重に!

- ☑ 工事は、ガス管の位置や深さを再度確認してから。
- ☑ ガス管の近くでは、重機を使用せず、手掘りにて慎重に作業を。



作業員全員で情報共有を!

- ☑ ガス管の位置情報や、ガス管近くでの手掘り等作業のポイントを必ず作業員全員で情報共有をお願いします。



ガスの事故がなくなるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

ガスの安全見直し隊

ガスの安全

検索

<http://www.meti.go.jp/>



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

ガス管調査窓口検索

ガス管の位置が不明な場合、日本ガス協会にアクセスし、以下の手順で各地域のガス会社の「ガス管調査窓口」を確認できます。

スマートフォンやパソコンから **日本ガス協会** **検索**
<https://www.gas.or.jp/gas-pipe/>

step 1 左上のメニューボタンから「ガス管調査窓口検索」を選びます。

step 2 検索したい都道府県または市を、検索を入力し「検索する」をクリック。

step 3 検索結果一覧からガス会社の連絡先の確認をおこないます。

万一、ガス管を損傷してしまったり...

- 1 落ち着いて、すぐにガス会社まで連絡する。
- 2 窓やドアを開けて換気をする。(換気扇は使用しない)
- 3 火気や電動工具は使用しない。
※コンクリートカッター・はつり作業、配管切断作業で発生する火花も着火源となります。
- 4 周囲へ周知、状況に応じて避難と避難誘導をする。
- 5 可能な場合はガスの噴出を止める。

ガス漏れ時の緊急連絡先

安全管理に努めましょう。

— 掘削、解体・撤去、増改築・改装工事をされる皆様へ —
 ガス管損傷による事故を起こすと、

ケガ・火傷

のほか、

火災・爆発

など近隣住民への迷惑、加えて

工事停止 損害賠償 労働災害

に発展し、
 会社に損失が生じることになります。

必ずやるう>>>安全確認基本チェックシート

	掘削 工事をする方へ 道路・敷地内を掘削（はつり・カッター含む）・杭打ち・整地など	解体・撤去 工事をする方へ 建物や構造物を取り壊す	増改築・改装 工事をする方へ 既設建物や設備の改修
<p>道路</p> <p><input type="checkbox"/> 道路を工事する際はガス会社※へ連絡・協議しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> ガス管の図面は持っていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 工事範囲にガス管がないか確認しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 「ガス管の位置・深さ」はわかりますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 「ガスが通じているか」わかりますか？</p> <p><input type="checkbox"/> ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 不明な点はガス会社※へ確認しましょう</p>	<p>敷地内</p> <p><input type="checkbox"/> ガス管の図面は持っていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 工事範囲にガス管がないか確認しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 「ガス管の位置・深さ」はわかりますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 「ガスが通じているか」わかりますか？</p> <p><input type="checkbox"/> ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 不明な点はガス会社※へ確認しましょう</p>	<p>道路</p> <p><input type="checkbox"/> 道路を工事する際はガス会社※へ連絡・協議しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> ガス管の図面は持っていますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 工事範囲にガス管がないか確認しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 「ガス管の位置・深さ」はわかりますか？</p> <p><input type="checkbox"/> 「ガスが通じているか」わかりますか？</p> <p><input type="checkbox"/> ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 不明な点はガス会社※へ確認しましょう</p>	<p>敷地内</p> <p><input type="checkbox"/> 解体建物のガス管にガスが通じていないことを確認しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> ガスが通じている場合、ガス会社へ切断処理を依頼しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 解体建物に別の建物のガス管が通っていないか確認しましょう (例：解体するA棟の中に、B棟のガス管がある場合など)</p> <p><input type="checkbox"/> ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 不明な点はガス会社※へ確認しましょう</p>
<p>工事前確認</p>	<p>※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照</p> <p><input type="checkbox"/> ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 工事場所付近にガス管の標示※がある場合、付近にガス管があるため注意して作業しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 工事場所付近にガス管があることを確認した場合、ガス管付近は慎重に手掘りで行いましょう</p>	<p>※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照</p> <p><input type="checkbox"/> ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 作業対象にガスメーターが設置されている場合、ガス管の切断処理をガス会社へ依頼しましょう</p>	<p>※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照</p> <p><input type="checkbox"/> ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> これから作業する配管が目的の配管で間違いないか確認しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> はつり・穴あけ・壊し作業付近にガス管があることを確認した場合、ガス管付近は慎重に作業しましょう</p>
<p>工事時確認（現場確認）</p>	<p>※【埋設ガス管の標示例】</p> <p>標示杭 標示ピン 標示シール</p> <p>埋設ガス管にはポリエチレン管が多く使われています。材質がポリエチレンというプラスチックのガス管で、衝撃が加わると破損してしまいますので、十分ご注意ください。</p>	<p>※【露出ガス管の標示例】</p> <p>ガスメーター ガス</p> <p>注意！ ガスメーターが除去済でもガス配管の切断処理をするまでは配管にはガスが通じています。</p>	<p>※【露出ガス管の標示例】</p> <p>ガス管標示シール</p> <p>コンクリート内のガス管をドリルにより損傷した例</p>
<p>工事故事例</p>	<p>下水工事のカッター作業中にガス管を損傷。漏えいしたガスを止めようと、周りのコンクリートをはつった際の火花で着火。作業員1名が顔面と両腕に火傷を負いました。</p>	<p>建物解体工事中に、水道管とガス管を損傷し、水道管から噴出した水がガス管に入り、周辺の約150戸のガスがストップ。事故を起こした工事は多額の損害賠償を請求されました。</p>	<p>改修工事に伴う排水管工事の際、設備図面の十分な確認をせず排水管と思い込み、ガスが通じているガス管に穴をあけ、電動工具の火花で着火。作業員1名が火傷を負いました。</p>